

### 3. [雲南市新庁舎建設について]

大東町会場（古代鉄歌謡館）

**Q 3**：私は、新市庁舎は本当に必要かと思っているので、市長にはそれをふまえた予算配分を考えてもらえたらと思う。

A：新庁舎は災害対策の拠点としても重要な役割を果たす建物でなくてはならない。今の庁舎は42,000人の市の庁舎としてはその役割を果たしがたい状況である。それがわかっていたので合併協の時から侃侃諤諤やった。建て替えないといけないというのは共通認識だったが、それがどこまでガマンできるかということだった。かなり老朽化しつつ崩れるかわからない。それが防災拠点というわけにはいかないだろうと。合併後10年以内に合併特例債が使える範囲内で建設を目指そうということになった。必然性についてはご理解をいただきたい。(市長)

**Q 4**：鳥取市も新庁舎建設問題があり、住民投票で新庁舎NOが圧倒的な数で結果が出たと思う。私の周りでも新庁舎は本当に必要かという意見を聞くので、雲南市でもこれから必要な場合には住民アンケート等、広く市民に意見を尋ねる方向で進めて欲しい。

A：住民の皆さんの意見をということについて、雲南市は平成16年11月1日に合併したが、平成14年度から任意の協議会、10月には法定協議会ができて平成16年10月末まで2年半かけて住民の代表のみなさんにも合併協の構成員としてお出かけいただき、その間ずっと意見を取り入れてきた。その中で庁舎建設はどうするということで「建てるか。」と言う結論になった。しかしどこへ建てるかの結論は出なかった。合併後結論が出たのが、今の県合庁敷地を活用してということで場所が決まった。ここに至るまでずいぶん長い時間をかけた。もう今は庁舎設計案について、設計する業者さんを選定する時期に来ている。建設の是非を問うような時期は過ぎている。今後どういう庁舎にするのか、どういう案を盛り込むかについては市民の皆さんの意見を十分に聞いていかないといけないが、是非を問うことは、今までの検討は何だったのかということになる。そういう意味での住民アンケートとか住民投票とかをやる気持ちはないので理解いただきたい。(市長)